

別表第1（学則第23条第6項）

1. 教養科目

	学習成果の目標 の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
（ディプロマポリシー）	教養		下記の表の科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授 業 科 目	学修成果の目標 （ディプロマポリシー）				
	教養	汎用力			
		思考力	実行力	表現力	情報力
大学史と別府大学	短期大学の教育に必要な知識・技能と思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養を身につけ、建学の精神及び教育目的・教育目標等を理解する	○			
基礎演習		○	○	○	○
哲学入門	人間の探究や自然の摂理、社会の文化などの基礎的教養を身につける	○	○		
心理学入門		○	○		○
文学入門		○	○	○	
法学（日本国憲法）		○	○		
社会生活と経済		○			○
生物学基礎		○	○		
物理学基礎		○	○		
数学基礎Ⅰ		○			
化学基礎		○	○		
地域社会論		○	○		
現代社会論		○	○		
進路指導Ⅰ		○			○
進路指導Ⅱ		○	○	○	○
国際文化		○	○	○	○
芸術		○		○	○
地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	
災害支援と防災対策		○			○
英語コミュニケーションⅠ	情報処理や外国語などの基本的なりテラシーを身につける	○	○	○	○
英語コミュニケーションⅡ		○	○	○	○
韓国語Ⅰ		○		○	
韓国語Ⅱ		○		○	
海外語学研修1		○			
海外語学研修2		○			
情報リテラシー		○		○	○
数理・データサイエンス入門		○			○
統計学Ⅰ		○	○		
アルゴリズムとプログラミング		○			○
データサイエンス基礎		○			
データエンジニアリング基礎		○			○
AI基礎		○			
体育実技Ⅰ	運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能を身につける	○	○	○	○
スポーツと健康		○	○	○	○
健康科学概論		○		○	
フィットネス		○	○		

2. 専門科目
(1) 食物栄養科

	学習成果の目標 の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
(ディプロマポリシー)	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授 業 科 目		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
社会生活と健康	社会福祉概論	社会生活と健康について基礎的な知識を修得する	○			
	健康管理概論		○			
	公衆衛生学概論		○			
人体の構造と機能	解剖生理学	人体の構造と機能についての基礎的な知識、及びそれに関する実験の技能を修得する	○	○	○	
	解剖生理・生化学実験		○	○	○	
	生化学		○			
	運動生理学		○			
	医学概論・臨床医学入門		○			○
食品と衛生	食生活論	食品と衛生についての基礎的な知識、及びそれに関する実験の技能や調理技術を修得する	○	○		
	食品学		○	○		
	食品学実験		○	○	○	○
	食の安全と鑑別		○	○		
	食品加工学		○	○		
	食品加工学実習		○	○	○	○
	食品衛生学		○	○		○
	食品衛生学実験		○	○	○	
栄養と健康	基礎栄養学	栄養と健康についての基礎的な知識、及びそれに関する実験の技能や調理技術を修得する	○	○	○	
	臨床栄養学総論		○	○		
	臨床栄養学各論		○	○	○	
	応用栄養学		○	○	○	○
	臨床栄養学実習		○	○	○	
	応用栄養学実習		○	○	○	
栄養の指導	栄養教育論	栄養の指導についての基礎的な知識、及びそれに関する実践的	○	○		
	栄養教育論実習		○	○	○	
	栄養カウンセリング論		○	○		

	栄養カウンセリング実習	な技術を修得する	○	○			
	公衆栄養学総論		○	○			○
給食の 運営	給食計画論・実務論	給食の運営についての基礎的な知識、及びそれに関する実践的な技術を修得する	○	○	○		
	給食経営管理実習Ⅰ		○	○	○	○	
	校外実習事前事後指導		○			○	○
	給食経営管理実習Ⅱ		○	○	○		○
	調理学		○	○			
	基礎調理		○	○			
	調理実習Ⅰ		○				
	調理実習Ⅱ			○	○		
関連 科目	子どもの食と栄養	栄養士として、専門に関連したより深い知識や複合的な技術を修得する	○	○	○		
	フードスペシャリスト論		○	○			
	フードコーディネーター論		○	○			
	フードマーケティング論		○	○			
	生活経営		○	○		○	
	被服学		○	○	○		
	住生活学		○	○		○	
	保育学		○	○			
	学校栄養指導論		○				
	A I ・データサイエンス実践		○		○		○
	ゼミナールⅠ		○			○	○
	ゼミナールⅡ		○			○	○

(2) 初等教育科

	学習成果の目標 の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
(ディプロマポリシー)	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授 業 科 目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
	専門力		汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
国語（書写を含む）	教育・保育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能を修得する	○			○	
算数		○	○	○		
生活		○	○		○	
社会		○	○	○		
理科		○	○			
家庭		○		○	○	
音楽		○	○			○
図画工作		○	○	○	○	○
体育		○	○		○	
外国語（英語）		○			○	
社会福祉	教育・保育の本質や目的、基礎理論や教職の意義を修得する	○	○			○
子ども家庭福祉		○	○			○
保育原理		○	○	○		
社会的養護Ⅰ		○	○			○
子ども家庭支援論		○	○			
教育原理		○	○		○	
教職概論		○	○			
発達心理学	教育・保育の対象である子どもの成長・発達、保健、栄養、そして家庭での生活などの知識・技能を修得する	○	○			○
特別支援教育論・保育Ⅰ		○	○	○	○	
特別支援教育論・保育Ⅱ		○	○	○	○	
子ども家庭支援の心理学		○		○		
子どもの保健		○	○			
子どもの食と栄養Ⅰ		○	○	○		○
子どもの食と栄養Ⅱ		○	○	○		
子どもの健康と安全		○	○	○		
教育相談		○			○	○
生徒指導論		○	○			
器楽Ⅰ	教育・保育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能を修得する	○		○	○	
器楽Ⅱ		○		○	○	
器楽Ⅲ		○		○	○	
幼児と表現		○	○	○	○	○
幼児と環境		○		○		

幼児と健康		○	○			○
幼児と言葉		○		○		○
幼児と人間関係		○	○			
乳児保育Ⅰ		○		○		
乳児保育Ⅱ		○		○		
社会的養護Ⅱ		○	○			○
子育て支援		○	○			○
教育方法論	教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得する	○		○		○
保育内容総論		○			○	
保育内容Ⅰ		○	○	○		
保育内容Ⅱ		○	○		○	
保育内容Ⅲ		○		○		
保育内容Ⅳ		○	○	○		
保育内容Ⅴ		○	○	○	○	
保育方法研究Ⅰ		○				○
保育方法研究Ⅱ		○	○		○	
保育方法研究Ⅲ		○	○	○	○	○
保育方法研究Ⅳ		○		○	○	○
保育方法研究Ⅴ		○	○	○	○	○
保育方法研究Ⅵ		○	○	○	○	○
保育方法研究Ⅶ		○	○	○	○	
教育課程論	教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得する	○	○			
道徳教育指導法		○	○			
総合的な学習の時間および特別活動指導		○	○			
教育とICT活用		○		○		○
国語科指導法		○	○	○		
算数科指導法		○	○	○	○	
生活科指導法		○		○		
社会科指導法		○		○		
理科指導法		○			○	
家庭科指導法		○	○	○		
音楽科指導法		○	○	○	○	
図画工作科指導法		○	○		○	○
体育科指導法		○	○	○	○	
外国語科指導法		○	○	○	○	
保育・教職実践演習（幼・小）	教育・保育におけるさまざまな資質能力を、有機的に統合・形成し、専門職としての職業生活を円滑に始めることができるように修得する	○		○		
教育実習指導		○	○	○		○
観察実習		○	○	○		
教育実習		○		○	○	
保育実習指導Ⅰ（保育所）		○	○		○	
保育実習指導Ⅰ（施設）		○		○		
保育実習指導Ⅱ	教育・保育の実際のある場である園・学校及び施設での実習により、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に修得する	○	○	○		
保育実習指導Ⅲ		○		○		
保育実習Ⅰ（保育所）		○		○	○	
保育実習Ⅰ（施設）		○		○	○	
保育実習Ⅱ		○		○	○	
保育実習Ⅲ		○		○	○	

子どもと絵本Ⅰ	教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得する	○			○	
子どもと絵本Ⅱ		○			○	
AⅠ・データサイエンス		○		○		○
介護体験指導	教育・保育の実際のある場である園・学校及び施設での実習により、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に修得する	○	○	○	○	
介護体験実習			○	○		

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力 自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授 業 科 目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
	専門力	汎用力			
		思考力	実行力	表現力	情報力
教科特講（国語Ⅰ）	教育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能を修得する	○	○	○	
教科特講（国語Ⅱ）		○	○	○	
教科特講（算数Ⅰ）		○	○	○	
教科特講（算数Ⅱ）		○	○	○	
教科特講（理科）		○	○		
教科特講（図画工作）		○	○	○	○
教科特講（体育）		○	○	○	
教科特講（外国語）		○	○	○	○
教育職特論	教育の本質や目的、基礎理論や教職の意義を修得する	○	○		
教育原論		○	○	○	
教育心理学特講		○	○		○
特別支援教育総論		○	○		
教育行政学		○	○	○	
教育課程特論	教育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得する	○	○		
指導法特論(国語)		○	○		○
指導法特論(社会)		○	○		
指導法特論(算数)		○	○	○	
指導法特論(理科)		○	○	○	○
指導法特論(生活)		○	○	○	○
指導法特論(家庭)		○	○	○	
指導法特論（音楽）		○	○		○
指導法特論(体育)		○	○	○	
指導法特論（図画工作）		○	○	○	○
道徳教育原論		○		○	○
総合的な学習の時間および特別活動指導特論		○	○	○	
情報機器論		○			○
指導法特論（外国語）		○		○	
教育の方法と技術		○	○	○	○
I C T活用の理論と方法		○			
教育評価・統計法		○	○		○
幼児教育指導特論		○	○	○	○
心と健康		○			○
人間関係論		○	○	○	
言葉と児童文化		○	○	○	
環境と自然		○	○	○	○
表現と鑑賞		○	○	○	
教育相談特論	教育の対象である子どもの成長・発達、保健、栄養、そして家庭での生活などの知識・技能を修得する	○		○	
幼児理解の理論と方法		○	○		
生徒指導特論		○		○	○
教職実践演習（幼・小）	教育におけるさまざまな資質能力を、有機的に統合・形成し、専門職としての職業生活を円滑に始めることができるように修得する	○		○	
実習指導（事前・事後の指導を含む）	教育の実際のある場である園・学校及び施設での実習により、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に修得する	○		○	
教育現場実習Ⅰ		○		○	
教育現場実習Ⅱ		○		○	
介護等体験実習指導		○		○	○
介護等体験実習		○	○	○	
修了論文	学修の総仕上げとして、テーマを設定し、調査研究を行い、論文にまとめ発表する	○		○	○

別表第 2 (学則第 2 4 条第 2 項)
教職に関する科目(食物栄養科)

	学習成果の目標 の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
(ディプロマポリシー)	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授 業 科 目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
	専門力		汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
教職概論	教育の本質や目的、基礎理論や教職の意義を修得する	○	○			○
教育学概論		○	○			
教育心理学		○	○	○		
特別支援教育論		○	○		○	
教育課程論	教育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得する	○	○	○		○
家庭科教育法Ⅰ		○	○			
家庭科教育法Ⅱ		○	○		○	
道徳教育論		○		○	○	
総合的な学習の時間の指導法および特別活動論		○	○		○	
教育方法論		○		○		○
教育とICT活用		○		○		○
生徒指導論	教育の対象である子どもの成長・発達、進路などの知識・技能を修得する	○	○	○		
教育相談論		○	○	○		
進路指導論		○	○			
実習指導	教育の実際のある学校及び施設での実習により、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に修得する	○	○			
教育実習Ⅰ		○	○	○		
教育実習Ⅱ		○	○	○		
教職実践演習（中学校）	教育におけるさまざまな資質能力を、有機的に統合・形成し、専門職としての職業生活を円滑に始めることができるように修得する	○	○			
教職実践演習（栄養教諭）		○				
栄養教育実習指導	教育の実際のある学校及び施設での実習により、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に修得する		○			
栄養教育実習		○		○		○
介護等体験実習指導		○		○		
介護等体験実習		○	○	○		